

医療機器の開発早期段階で 考えておきたいこと

医療機器の異分野シーズ支援においては、開発初期段階から適切に伴走支援を行うことが極めて重要です。研究者が独自に研究を進めるだけでは、実用化に至るプロセスが不十分となる場合が多く見受けられます。本シンポジウムでは、医療機器開発を実用化へとつなげるために、初期段階から留意すべき要点について、具体的な事例を交えて支援者の皆様に解説いたします。

日時

2026年 8月 21日 (金) 9:30-11:00

会場

日本橋ライフサイエンスビルディング 2階201

(東京都中央区日本橋本町2-3-11)

※現地開催およびWEB配信

●プログラム●

座長：鈴木 由香（東北大学病院臨床研究推進センター）

谷城 博幸（長崎大学病院臨床研究センター）

「開発早期から保険償還を考えるべき理由」

仁澤 卓也（東北大学病院臨床研究推進センター）

「PMDA相談にはいつ行くべきか（いつ来て欲しいか）」

宮木 詩織（医薬品医療機器総合機構）

「SaMD開発において考えておきたいこと」

盛山 真奈美（東北大学病院臨床研究推進センター）

「医療機器開発支援者に考えて欲しいこと」

池田 浩治（東北大学病院臨床研究推進センター）

パネルディスカッション

パネリスト：横井 宏佳（福岡中央病院） 他調整中

お申し込み方法：

下記URLフォームから
お申し込みください。
(8/17 (月) 締切)

<https://forms.gle/vqHXcy5Kgq3yJVtb9>

QRコード

